

平成 21 年 11 月 12 日

各 位

会 社 名 スパークス・グループ株式会社
 代表者の役職名 代表取締役社長 阿部 修平
 (JASDAQ コード番号：8739)
 問い合わせ先 代表取締役副社長 藤井 幹雄
 電 話 番 号 03-5437-9700

平成 22 年 3 月期第 2 四半期連結業績と前年実績との差異 および個別業績上の特別損失の発生に関するお知らせ

1. 平成 22 年 3 月期第 2 四半期の連結業績（平成 21 年 4 月 1 日～平成 21 年 9 月 30 日）

連結業績と前年実績との差異

(百万円未満切捨て)

連結経営成績

(%表示は対前年増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22 年 3 月期 第 2 四半期	4,193	△37.4	△149	-	△253	-	119	-
21 年 3 月期 第 2 四半期	6,702	△48.3	△1,040	-	△573	-	△1,152	-

営業収益に関しましては、残高報酬は前年同期比 45.5%減の 33 億 23 百万円、成功報酬は同 73.3%減の 3 億 21 百万円となりました。また、自己資金による投資育成事業における営業投資有価証券売買損益を 4 億 42 百万円、その他営業収益の 1 億 5 百万円を計上した結果、営業収益は同 37.4%減の 41 億 93 百万円となりました。

営業費用及び一般管理費に関しては、支払手数料の減少や成功報酬に連動した賞与支払額など変動経費が大きく減少したこと及び昨年度来の経営構造改革の効果により、同 43.8%減の 43 億 42 百万円となりました。

これらの結果、営業損失は 1 億 49 百万円（前年同期は 10 億 40 百万円の営業損失）、経常損失は 2 億 53 百万円（前年同期は 5 億 73 百万円の経常損失）を計上しました。

投資有価証券売却損、経営構造改革関連損失などによる特別損失 4 億 67 百万円の計上や法人税等調整額△9 億 54 百万円の計上により、第 2 四半期連結累計期間における四半期純利益は 1 億 19 百万円となりました。

なお、当第 2 四半期連結累計期間に、当社子会社 SPARX International Ltd.（以下、「SIL」）において有償減資を実施いたしました。当該有償減資は、関係会社間取引であることから内部取引として相殺消去されるため、当社の連結業績上、以下に記載の税務面を除いて影響はありません。

税務面においては、当該有償減資により、みなし譲渡損失を計上したことを主な理由として、当第 2 四半期連結累計期間において法人税、住民税及び事業税が 11 億 58 百万円減少することとなり、その結果、四半期純利益が同額増加いたしました。

2. 個別業績上の特別損失の発生について

上記 1.に記載のとおり、SIL において有償減資を実施したことにより、当社の SIL への出資時に適用した為替レートと当該有償減資に適用した為替レートとの差異を、当社個別業績上、海

外子会社減資に伴う為替差損として特別損失に 64 億 13 百万円計上いたします。

なお、上記 1. 記載のとおり、当該有償減資は、関係会社間取引であることから、内部取引として相殺消去されるため、当社連結業績への影響はありません。

以 上